

Excel 実用講座

2019年11月12日
パソコンを使いこなす会

【第15回分科会のテーマ：実用的な家計簿】

市販のテキストを使用してEXCELの使い方を勉強します。

今回は、『500円でわかるエクセル 2013』を使用します。テキストの当該部分を参考資料として添付します。

- ① オートフィルターを設定する
- ② 費目別にデータを抽出する
- ③ 列を挿入する
- ④ 表を移動する
- ⑤ 表をコピーする
- ⑥ 費目別に集計する
- ⑦ 参照先を固定して数式をコピーする
- ⑧ セルに棒グラフを表示する
- ⑨ ワークシート名を変更する
- ⑩ 月ごとのワークシートを作る

雑誌『500円でわかるエクセル 2013』を持っている人は本テキストp3以降を印刷する必要ありません。
2 ページ記載の【参考資料 p34】とある嘉所は雑誌のp34をご覧ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	かんたん家計簿								
2									
3									
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金				
5	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389				
6									
7	費目	金額	日付	費目	金額	累計	メモ		
8	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉		
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000	15,000	福袋		
10	衣服	5,000	1月2日	食費	2,824	17,824			
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000	19,824			
12	交際費	13,000	1月5日	交通費	800	20,624			
13	交通費	2,000	1月5日	交際費	3,000	23,624	新年会		
14	その他	2,860	1月6日	食費	2,821	26,445			
15	合計	41,431	1月7日	交通費	1,200	27,645			
16			1月7日	教養・娯楽	1,800	29,445	映画		
17			1月7日	生活雑貨	1,288	30,733			
18			1月9日	教養・娯楽	3,400	34,133	DVD		
19			1月9日	食費	2,486	36,619			
20			1月9日	その他	2,860	39,479	歯医者		
21			1月10日	生活雑貨	1,952	41,431			
22									
23									
24									
25									
26									
	1月	2月	3月						

Step1で作成
分析機能を
データの抽出
計、棒グラフ
果の可視化と
な家計簿を目

【具体的内容:実用的な家計簿】

1. 準備

- 簡単家計簿_材料.xlsx を開く

2. 編集

- ① オートフィルターを設定する
 «本テキスト p3参照»【参考資料 p34】
- ② 費目別にデータを抽出する
 «本テキスト p3参照»【参考資料 p34】
- ③ 列を挿入する
 «本テキスト p4 参照»【参考資料 p35】
- ④ 表を移動する
 «本テキスト p4 参照»【参考資料 p35】
- ⑤ 表をコピーする
 «本テキスト p4 参照»【参考資料 p35】
- ⑥ 費目別に集計する
 «本テキスト p5 参照»【参考資料 p36】
- ⑦ 参照先を固定して数式をコピーする
 «本テキスト p6、p7 参照»【参考資料 p37】
- ⑧ セルに棒グラフを表示する
 «本テキスト p7 参照»【参考資料 p38】
- ⑨ ワークシート名を変更する
 «本テキスト p8 参照»【参考資料 p39】
- ⑩ 月ごとのワークシートを作る
 «本テキスト p8 参照»【参考資料 p39】

以上

2 費目別にデータを抽出する

オートフィルターを利用して交際費の使用履歴を調べよう。「費目」欄で「交際費」を条件として抽出を行えば、該当データだけを表示できるので、何日にいくら使ったかが一目瞭然になる。

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
9	1月2日	衣服	5,000	15,000	福袋
10	1月2日	食費	2,824	17,824	
11	1月5日	交通費	800	18,624	
12	1月5日	交際費	3,000	21,624	新年会
13	1月5日	交際費	2,821	24,445	
14	1月5日	交際費	1,200	25,645	
15	1月5日	交際費	1,800	27,445	映画
16	1月5日	交際費	1,288	28,733	
17	1月5日	交際費	3,400	32,133	DVD

①「費目」の「▼」ボタンをクリックすると①、「費目」の列に入力したすべての項目が一覧表示される。まずは、「(すべて選択)」をクリックして、すべての項目のチェックを外す②。

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
9	1月2日	衣服	5,000	15,000	福袋
10	1月2日	食費	2,824	17,824	
11	1月5日	交通費	800	18,624	
12	1月5日	交際費	3,000	21,624	新年会
13	1月5日	交際費	2,821	24,445	
14	1月5日	交際費	1,200	25,645	
15	1月5日	交際費	1,800	27,445	映画
16	1月5日	交際費	1,288	28,733	
17	1月5日	交際費	3,400	32,133	DVD

②「交際費」をクリックしてチェックを入れ①、「OK」ボタンをクリックする②。

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
13	1月5日	交際費	3,000	23,624	新年会

③「交際費」のデータだけが表示される。オートフィルターを実行している列（ここでは「費目」）のボタンは「▼」に変わる。

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
13	1月5日	交際費	3,000	23,624	新年会

④「費目」欄の「▼」ボタンをクリックし①、「費目」からフィルターをクリアを選ぶ②、抽出が解除されてすべてのデータが表示される。

1 オートフィルターを設定する

エクセルには、「オートフィルター」という便利な抽出機能が用意されている。これを利用すれば、費目別や日付別などにデータを抽出して、家計簿を簡単に分析することができる。

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
9	1月2日	衣服	5,000	15,000	福袋
10	1月2日	食費	2,824	17,824	

① 表内の任意のセルをクリックし①、「データ」タブをクリックして②、「フィルター」ボタンをクリックする③。

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
9	1月2日	衣服	5,000	15,000	福袋
10	1月2日	食費	2,824	17,824	

② 選択したセルを含む表が自動認識されて、見出しの各セルにオートフィルター用の「▼」ボタンが表示された。

オートフィルターを解除するには？

7	日付	費目	金額	累計	メモ
8	1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
9	1月2日	衣服	5,000	15,000	福袋
10	1月2日	食費	2,824	17,824	
11	1月4日	食費	2,000	19,824	
12	1月5日	交通費	800	20,624	
13	1月5日	交際費	3,000	23,624	新年会

オートフィルターを設定した表内の任意のセルをクリックし①、「データ」タブの「フィルター」ボタンをクリックする②。オートフィルターが解除され、「▼」ボタンが非表示になる③。データの抽出を行っている場合は、解除される。

かんたん家計簿				
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389
日付		費目	金額	集計
1月1日	交際費	10,000	10,000	お年玉
1月2日	衣服	5,000	15,000	雑費

③「繰越金」と「今月収入」の表がセルA4～B5に移動した①。同様に、「今月予算」「支出合計」「残金」の表（セルF4～H5）もセルD4～F5に移動しておく②。

5 表をコピーする

新しい表を作るときは、作成済みの表を使い回すと効率的だ。「費目」欄と「金額」欄をコピーして、集計表として利用しよう。

① セルE7～F15をドラッグして選択し①。「ホーム」タブの「コピー」ボタンをクリックする②。「Ctrl」キーを押しながら「C」キーを押してもよい。

② コピー先のセルA7をクリックし①、「ホーム」タブの「貼り付け」ボタンをクリックすると②、表がコピーされる③。

かんたん				
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389
費目	金額	日付	費目	金額
食費		1月1日	交際	
生活雑貨		1月2日	衣服	
衣服		1月2日	食費	
教養・娯楽		1月4日	食費	
交際費		1月5日	交通	
交通費		1月5日	交際	
その他		1月6日	食費	

かんたん家計簿					
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
費目	金額	日付	費目	金額	累計
食費	=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)		交際費	10,000	10,000
生活雑貨	SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])	1月2日	衣服	5,000	15,000
衣服		1月4日	食費	2,824	17,824
教養・娯楽		1月5日	交通費	800	19,824
交際費		1月5日	交際費	3,000	20,624
交通費		1月6日	食費	2,821	23,624
その他		1月7日	交通費	1,200	26,445
合計		1月7日	教養・娯楽	1,800	27,645
		1月7日	生活雑貨	1,288	29,445
		1月9日	教養・娯楽	3,400	30,733
		1月9日	食費	2,486	34,133
		1月9日	その他	2,860	36,619
		1月10日	生活雑貨	1,852	39,479
					41,431

- 4 続けて「,」を入力し、家計簿の「金額」の列（セルF8～F23）をドラッグする①。数式に「F8:F23」が追加され、「=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)」になる②。最後に「Enter」キーを押す。

かんたん家計簿					
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
費目	金額	日付	費目	金額	累計
食費	10,131	1月1日	交際費	10,000	10,000
生活雑貨		1月2日	衣服	5,000	15,000
衣服		1月4日	食費	2,824	17,824
教養・娯楽					

- 5 セルB8に食費の集計が表示される①。セルB8をクリックして数式バーを見ると、入力したSUMIF関数が確認できる。最後の「」(半角の閉じカッコ)は自動で追加される②。関数の詳細については、74ページ参照。

SUMIF関数のしくみ

機能 条件に合致したデータを合計する

書式 =SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])

「範囲」のセルから「検索条件」に合致するデータを探し、見つかった行の「合計範囲」のデータを合計する。

作例 =SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)

関数名 範囲 検索条件 合計範囲
家計簿の「費目」の列。 「食費」。 家計簿の「金額」の列。

意味 家計簿の「費目」の列で、「食費」と入力されている行の「金額」を合計する。

6 費目別に集計する

集計表に費目ごとの集計を入れる。費目別に集計するには、条件に合ったデータを合計する「SUMIF」(サムイフ)関数を使う。家計簿にデータを追加すると、そのつど再集計される。

かんたん家計簿					
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
費目	金額	日付	費目	金額	累計
食費	=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)	1月1日	交際費	10,000	10,000
生活雑貨	=SUMIF(E8:E23,A9,F8:F23)	1月2日	衣服	5,000	15,000
衣服	=SUMIF(E8:E23,A10,F8:F23)	1月4日	食費	2,824	17,824
教養・娯楽	=SUMIF(E8:E23,A11,F8:F23)	1月5日	交通費	800	19,824
交際費	=SUMIF(E8:E23,A12,F8:F23)	1月5日	交際費	3,000	20,624
交通費	=SUMIF(E8:E23,A13,F8:F23)	1月6日	食費	2,821	23,624
その他	=SUMIF(E8:E23,A14,F8:F23)	1月7日	交通費	1,200	26,445
合計	=SUMIF(E8:E23,A15,F8:F23)	1月7日	教養・娯楽	1,800	27,645
		1月7日	生活雑貨	1,288	29,445
		1月9日	教養・娯楽	3,400	30,733
		1月9日	食費	2,486	34,133
		1月10日	生活雑貨	1,852	39,479
					41,431

- 1 まず、「食費」の集計を求める。セルB8をクリックして「=sum」と半角で入力すると(大文字でもよい)①、関数の候補が表示されるので「SUMIF」をダブルクリックする②。

かんたん家計簿					
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
費目	金額	日付	費目	金額	累計
食費	=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)	1月1日	交際費	10,000	10,000
生活雑貨	SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])	1月2日	衣服	5,000	15,000
衣服		1月4日	食費	2,824	17,824
教養・娯楽		1月5日	交通費	800	19,824
交際費		1月5日	交際費	3,000	20,624
交通費		1月6日	食費	2,821	23,624
その他		1月7日	交通費	1,200	26,445
合計		1月7日	教養・娯楽	1,800	27,645
		1月7日	生活雑貨	1,288	29,445
		1月9日	教養・娯楽	3,400	30,733
		1月9日	食費	2,486	34,133
		1月10日	生活雑貨	1,852	39,479
					41,431

- 2 「=SUMIF」()と関数が入力されるので、家計簿の「費目」の列(セルE8～E23)をドラッグする①。数式に「E8:E23」が追加され、「=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)」になる②。

かんたん家計簿					
繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
費目	金額	日付	費目	金額	累計
食費	=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)	1月1日	交際費	10,000	10,000
生活雑貨	SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])	1月2日	衣服	5,000	15,000
衣服		1月4日	食費	2,824	17,824
教養・娯楽		1月5日	交通費	800	19,824
交際費		1月5日	交際費	3,000	20,624
交通費		1月6日	食費	2,821	23,624
		1月7日	交通費	1,200	26,445
		1月7日	教養・娯楽	1,800	27,645
		1月7日	生活雑貨	1,288	29,445
		1月9日	教養・娯楽	3,400	30,733
		1月9日	食費	2,486	34,133
		1月10日	生活雑貨	1,852	39,479
					41,431

- 3 「」(半角のカンマ)を入力して、費目名の「食費」のセルA8をクリックする①。数式は「=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)」になる②。

IF	:	X	✓	f	=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)
1	A	B	C		SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])
2					
3					
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金

4 「範囲」の「E8:E23」をドラッグして選択する。

IF	:	X	✓	f	=SUMIF(E8:E23,A8,F8:F23)
1	A	B	C		SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])
2					
3					
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
5	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389

5 「F4」キーを押して、「E8:E23」の列番号と行番号の前に「\$」が付いた「\$E\$8:\$E\$23」にする。

IF	:	X	✓	f	=SUMIF(\$E\$8:\$E\$23,A8,\$F\$8:\$F\$23)
1	A	B	C		SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])
2					
3					
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
5	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389

6 同様に「合計範囲」の「F8:F23」をドラッグして「F4」キーを押し、「\$F\$8:\$F\$23」にする。最後に「Enter」キーを押す。

6	費目	金額	日付	費目	金額
7	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000
8	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000
9	衣服	5,000	1月2日	食費	2,824
10	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000
11	交際費	13,000	1月5日	交通費	800
12	交通費	2,000	1月5日	交際費	3,000
13	その他	2,860	1月6日	食費	2,821
14	合計		1月7日	交通費	1,200
15			1月7日	教養・娯楽	1,800

7 「食費」のセルB8をクリックし①、フィルハンドルをセルB14までドラッグする②。

B9	:	X	✓	f	=SUMIF(\$E\$8:\$E\$23,A9,\$F\$8:\$F\$23)	
1	A	B	C	D	E	F
2	かんたん家計簿					
3	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
5	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
6						
7	費目	金額	日付	費目	金額	
8	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000	
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000	
10	衣服	5,000	1月2日	食費	2,824	
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000	
12	交際費	13,000	1月5日	交通費	800	
13	交通費	2,000	1月5日	交際費	3,000	
14	その他	2,860	1月6日	食費	2,821	
15	合計		1月7日	交通費	1,200	
16			1月7日	教養・娯楽	1,800	

8 数式がコピーされ、費目ごとの集計が正しく表示される。「生活雑貨」のセルB9を選択して①、数式バーを確認しよう。SUMIF関数の「範囲」の「\$E\$8:\$E\$23」と「合計範囲」の「\$F\$8:\$F\$23」は固定のまま、「検索条件」だけが正しく「A9」にずれていることがわかる②。(次ページへ続く)

7 参照先を固定して数式をコピーする

32ページで紹介したように数式をコピーすると、数式内のセル参照がずれる。それでよい場合もあるが、ずれてほしくないときはどう対処すべきか。手順を追いつながりを見ていこう。

6	費目	金額	日付	費目	金額
7	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000
8	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000
9	衣服	5,000	1月2日	食費	2,824
10	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000
11	交際費	13,000	1月5日	交通費	800
12	交通費	2,000	1月5日	交際費	3,000
13	その他	2,860	1月6日	食費	2,821
14	合計		1月7日	交通費	1,200
15			1月7日	教養・娯楽	1,800
16			1月7日	生活雑貨	3,240

1 右ページで入力した数式をコピーする。セルB8をクリックし①、セルの右下にあるフィルハンドルをセルB14までドラッグする②。

B9	:	X	✓	f	=SUMIF(B9:E24,A9,F9:F24)	2
1	A	B	C	D	E	F
2	かんたん家計簿					
3						
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
5	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
6						
7	費目	金額	日付	費目	金額	
8	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000	
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000	
10	衣服	0	1月2日	食費	2,824	
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000	
12	交際費	3,000	1月5日	交通費	800	
13	交通費	1,200	1月5日	交際費	3,000	
14	その他	2,860	1月6日	食費	2,821	
15	合計		1月7日	交通費	1,200	
16			1月7日	教養・娯楽	1,800	

2 数式がコピーされる。しかし、「衣服」が「0」になるなど、計算が合わない。「生活雑貨」のセルB9を選択し①、数式バーを確認すると、SUMIF関数の「範囲」が「E9:E24」、「合計範囲」が「F9:F24」と1行分ずれていることがわかる②。コピーしてもずれないように「範囲」と「合計範囲」を固定したい。

B8	:	X	✓	f	=SUMIF(E9:E23,A8,F8:F23)	
1	A	B	C	D	E	F
2	かんたん家計簿					
3						
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金	
5	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389	
6						
7	費目	金額	日付	費目	金額	
8	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000	
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000	
10	衣服	5,000	1月2日	食費	2,824	
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000	
12	交際費	13,000	1月5日	交通費	800	
13	交通費	2,000	1月5日	交際費	3,000	
14	その他	2,860	1月6日	食費	2,821	
15	合計		1月7日	交通費	1,200	
16			1月7日	教養・娯楽	1,800	

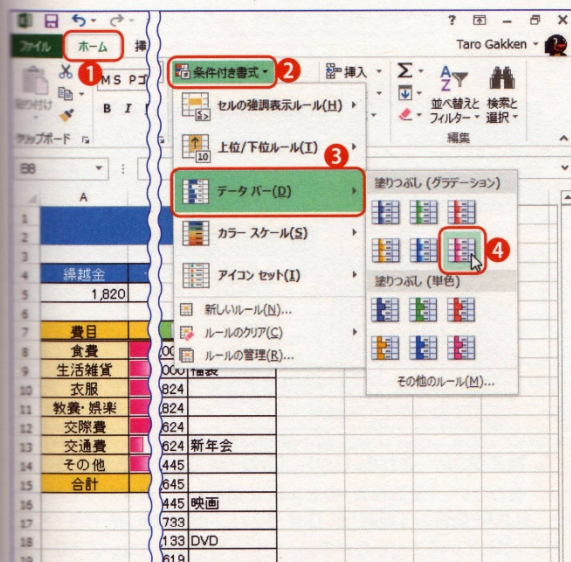
3 「食費」の数式(セルB8)だけを残し、コピーした数式(セルB9-B14)は削除しておく。セルB8をクリックして選択し①、マウスポインターを数式バーに移動する②。

8 セルに棒グラフを表示する

「データバー」機能を使用して、費目別の集計欄に棒グラフを表示しよう。費目ごとの金額のバランスがひと目でわかる。家計簿にデータを追加すると、棒グラフも自動で変化する。

5	費目	金額	日付	費目	金額
8	食費	10,131	1月1日	交際費	
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	
10	衣服	5,000	1月2日	食費	
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	
12	交際費	13,000	1月5日	交通費	
13	交通費	2,000	1月5日	交際費	
14	その他	2,860	1月6日	食費	
15	合計	41,431	1月7日	交通費	

1 データバーを表示するセルB8～B14をドラッグして選択する。



2 「ホーム」タブを開いて①、「条件付き書式」ボタンをクリックし②、「データバー」から③、データバーの色を選択する④。

3	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
5	1,820	180,000	181,820	41,431	
7	費目	金額	日付	費目	金額
8	食費	10,131	1月1日	交際費	
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	
10	衣服	5,000	1月2日	食費	
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	
12	交際費	13,000	1月5日	交通費	
13	交通費	2,000	1月5日	交際費	
14	その他	2,860	1月6日	食費	
15	合計	41,431	1月7日	交通費	

3 金額の大きさに応じた棒グラフが表示された。

1	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
4	1,820	180,000	181,820	41,431	140,389
7	費目	金額	日付	費目	金額
8	食費	10,131	1月1日	交際費	10,000
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	5,000
10	衣服	5,000	1月2日	食費	2,824
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	2,000
12	交際費	13,000	1月5日	交通費	800
13	交通費	2,000	1月5日	交際費	3,000
14	その他	2,860	1月6日	食費	2,821
15	合計	41,431	1月7日	交通費	1,200
16				教養・娯楽	1,800
17				生活雑貨	1,288
18				教養・娯楽	3,400

9 最後に合計を求める。「合計」欄のセルB15をクリックし①、「数式」タブを開いて②、「オートSUM」ボタンをクリック③。合計範囲が「B8:B14」となっていることを確認し④、「Enter」キーを押す。

3	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計
5	1,820	180,000	181,820	41,431
7	費目	金額	日付	費目
8	食費	10,131	1月1日	交際費
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服
10	衣服	5,000	1月2日	食費
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費
12	交際費	13,000	1月5日	交通費
13	交通費	2,000	1月5日	交際費
14	その他	2,860	1月6日	食費
15	合計	41,431	1月7日	交通費

10 合計が表示される。この合計は、支出合計のセルE5と一致する。

相対参照と絶対参照

数式内のセルアドレスの指定方式には、「A1」のような「相対参照」と、「\$A\$1」のような「絶対参照」がある。数式をコピーすると、相対参照のセルアドレスは自動でずれるが、絶対参照のセルアドレスは固定される。

C3	A	B	C	D	E
1	商品リスト				
2	商品名	税抜価格	消費税率	= B3 * \$B\$7	
3	冷蔵庫	150,000	7,500	= B4 * \$B\$7	
4	洗濯機	60,000	3,000	= B5 * \$B\$7	
5	テレビ	38,000	1,900		
6					
7	消費税率	5%			

画面では、セルC3の数式「=B3*\$B\$7」をセルC5までコピーした。相対参照の「B3」はコピーした位置に応じて「B4」「B5」と自動でずれるが、絶対参照の「\$B\$7」は固定される。

	A	B	C	D	E
1	かんたん家計簿				
2					
3					
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
5	1,820	180,000	Delete	1,820	41,431
6					
7	費目	金額	日付	費目	金額
8	食費	10,131	1月1日	交際費	
9	生活雑貨	3,240	1月2日	衣服	
10	衣服	5,000	1月2日	食費	
11	教養・娯楽	5,200	1月4日	食費	
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					

3 「2月」のワークシートの入力欄からデータを削除する。まず、「繰越金」と「今月収入」の入力欄を選択し、「Delete」キーを押してデータを削除する。

	A	B	C	D	E
1	かんたん家計簿				
2					
3					
4	繰越金	今月収入	今月予算	支出合計	残金
5			0	0	0
6					
7	費目	金額	日付	費目	金額
8	食費	0			0
9	生活雑貨	0			0
10	衣服	0			0
11	教養・娯楽	0			0
12	交際費	0			0
13	交通費	0			0
14	その他	0			0
15	合計	0			0
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					

4 同様に、「日付」「費目」「金額」「メモ」の入力欄のデータも削除しておく。数式は削除せずに残しておけば、2月のデータを入力すると支出合計や残金、費目別の集計などが計算される。これで、空の家計簿ができた。

23					
24					
25					
26					
	1月	2月	2月 (2)	+	

5 右の手順①の方法で「2月」のワークシートをコピーする。

23					
24					
25					
26					
	1月	2月	3月	+	

6 コピーしたワークシートの名前を「3月」に変更する。同様の手順で必要なだけシートをコピーしよう。

9 ワークシート名を変更する

初期状態のワークシート名「Sheet1」では、何のデータであるかわかりにくい。表の内容に応じた名前に変更しよう。ここでは家計簿の「1月」という名前に変更する。

23					
24					
25					
26					
	Sheet1	+			

1 「Sheet1」のシート見出しをダブルクリックする。

23					
24					
25					
26					
	Sheet1	+			

2 「Sheet1」の文字が編集できるようになる。

23					
24					
25					
26					
	1月	+			

3 「1月」と入力して、「Enter」キーを押すと、ワークシートの名前が変更される。

10 月ごとのワークシートを作る

データを入力していない空の家計簿を月ごとに作成しておくと、毎月の家計をすぐに入力できる。「1月」シートをコピーしてデータを削除し、翌月以降のシートとして利用しよう。

23					
24					
25					
26					
	1月	2月	2月 (2)	+	

1 「1月」のシート見出しを「Ctrl」キーを押しながらドラッグし、1月の右側でドロップする。

23					
24					
25					
26					
	1月	1月 (2)	+		

2 「1月 (2)」という名前でも「1月」のワークシートがコピーされた。ワークシート名を「2月」に変更しておこう。

以上